

比べて見つけよう 生物の外部形態の共通点と相違点

入口にある棒グラフを見よう。透明なアクリルの棒グラフの色が違うのは、そこだけにしか住んでいない生物の種類を表しているのだ。



右奥の方へ進む。クワガタの正面の展示へ

日本

館

2 階

南 入口

生き物たちの日本列島



1 日本と同じぐらいの面積の島国と生物の種数を比較しよう

	植物	魚類	鳥類	哺乳類
日本				
イギリス				
ニュージーランド				



日本にいる生物の種数にこのような特徴があるのはなぜなのだろうか？



時間があれば、この展示の真後ろの位置にある映像（7分間）を見てみよう。

日本

館

2 階

南Ⅲ10

ブラギストン線と鳥たち



2 ミヤマカケスとカケスの共通点と相違点を見つめよう

シルエットにくちばしやからだの模様などを書き加え、共通点と相違点を示そう。

ミヤマカケス



カケス



同じように見える鳥だけれど、どのようなところが違う（相違点）のかな？特に色の違いに注目してみよう。



次の問いも同じ展示場所



3 ブラギストン線とはどのような線なのかを
考えよう

明治時代にイギリスから函館に移り住んだ博物学者ブラギストンが考えた津軽海峡付近の線を「ブラギストン線」というの。



ブラギストン線を境に似ているようで違う鳥の種がいくつもいるのはなぜだろう。



なぜそう考えたのか、理由も書こう。



日本列島に固有種が多いのはなぜだろう



周りにあるいろいろな展示も見てみよう。考えるためのヒントが見つかるよ。

感じたこと

わかったこと

考えたこと

もっと知りたくなったこと

等を書こう

年

組

番

氏名